



『子どもに振り回されよう』

2023.11.18

長女が2月に男の子を出産し、その子が9ヶ月になり、ハイハイをし出しました。うちの子たちはこの頃何キロだった？と長女に訊かれ、6冊の母子手帳の束を久しぶりに取り出してみました。長男は今年28才になります。古ぼけた母子手帳は私の勲章だと思っています。すごいことを成し遂げたわけではなく、今も大人や、浪人生、高校生、小学生とバタバタと暮らす毎日が続いているのですが。今や子育ては「贅沢」と言われ、人生の大半を子育てに使える女性は激減しています。生き方は多様化し、その選択の中に子育ての順位はどんどん低くなっています。2023年、日本の出生数は77万人・出生率女性一人当たり1.26人と過去最低を更新しています。

さて、子育て真っ最中のパパやママにとって「子育ては贅沢」と思えるでしょうか。バタバタと子どもに振り回される日々。すべて自分のことは後回しです。インスタに出ているような楽しそうな素敵な子育てなどどこにもなく。朝から片付かない部屋で小さな子を叱りながら慌てて幼稚園に送り出す。早く寝かせなきゃ、と前倒しで夕飯を済ませて、ゆっくりと子どもに本でも、と思っても先に眠くなり、本を落とす始末。スーパーでは迷惑をかけないように、最速で買い物をし。バスや電車は泣き出さないか？だけを考え、景色など見たことはありません。

そして、当の子どもたちは、その親の苦勞などほとんど記憶にないのです。

それでも。その振り回された日々こそ、今私は自分に勲章を送っています。

他の選択もあったはずですが、自分が選んだ毎日。

子どもたちは、選びもなく、ただただ私の元に生まれ、育てられてしまいました。

その子どもたちに私があげたものは「振り回された日々」だけです。

そして、子どもが安心して育って行くには「振り回される大人」が必ず必要なのです。

幼い自分を最優先してくれる大人がいて初めて安心して成長できるのです。何年でもありません。優先して育ててもらった子どもたちはあっさり自立していきます。

泣きたくなるようなバタバタの毎日こそが、子どもにとって、そして親にとって、実は最高の贅沢なのです。

小学3年生の未っ子にまだまだ振り回されてもいいな、と思う、懲りない性格なのです。